

# 学校保健

THE SCHOOL HEALTH No. 190

(財)日本学校保健会

生涯を通じて心豊かで  
たくましく生きる子どもの育成  
—家庭・地域との連携による  
健康なライフスタイルの確立—  
第42回全国学校保健研究大会の主題  
(平成4年度 山梨県)



年頭所感

## 21世紀の支持基盤形成

(財)日本学校保健会 会長 村瀬敏郎

新しい年を迎えるにあたり、本年も皆様とともに学校保健の充実強化に努めたいと意を決しております。

21世紀に到来すると予測される高齢化社会の足音はいよいよ近づいており、その支持基盤を形成する児童生徒にかかる期待もますます高まっております。教育の場においても、「こころとからだ」の健全な育成が大きな課題となって、学校保健活動に携わるわれわれの責務にも厳しい役割が求められています。

日本学校保健会も活動のフォーカスをここに定め、センター的事業の研究課題の設定、普及事業の推進に意を注いでおりますが、特に本年度は学校保健委員会の活性化に着目し、家庭や地域社会とより緊密に連帯した活動を展開したいと考えております。関係する皆様の絶大なご協力を切望する次第です。

山梨県における第42回全国学校保健研究大会に、その成果をお話し合いできることを期待して年頭のご挨拶といたします。



### 目次

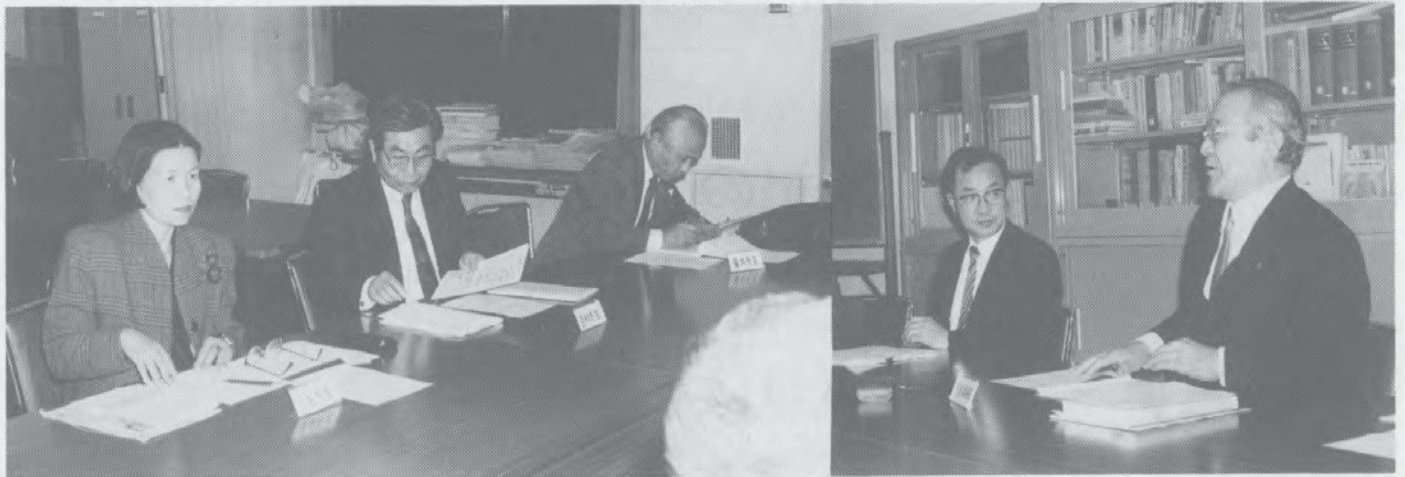
- 新春座談会  
学校保健の活性化を！  
…2～7
- 叙勲・表彰の個人・学校  
団体 …8～9
- 全国大会の特別講演  
鹿の心・人の心 …10
- 日本学校保健会だより…11
- よい歯の学校表彰 …11

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

## 新 春 座 談 会

## 学校保健の活性化を！

— 学校保健を教育活動に位置付けるためには —



## 出席者 (敬称略)

文部省体育局 体育官 猪股俊二

東京都台東区立上野中学校 校長

東京都公立中学校保健体育研究会 副会長

吉村英雄

埼玉県上福岡市立第四小学校 教諭

全国学校保健主事会 会長

壺井忠雄

東京都立教育研究所保健体育研究室

指導主事 高田公子

会報編集委員会 司会 杉浦稔

写真 石川行男

去年は、いままも続いている雲仙・普賢岳の噴火や、相次ぐ台風による災害などがあった。その被災地の各学校では、大へんなご苦労なことがあったことと拝察し、心からお見舞申し上げる。

さて、本年は学習指導要領の改訂にともない、自からの行動に意志決定のできる児童・生徒の育成が求められている。一方、社会環境の変化、価値観の多様化などの影響で、教育の現場でも、多くの問題点が見受けられる。しかし、心豊かで、たくましい子どもの育成という目標は、昔も今も不変である。この目標に向って各学校における教育活動の中に、学校保健を明確に位置付けることこそ、学校保健の活性化につながるのではないかと考える。

## いま学校の現場では

司会 本年は、小学校5、6年生に保健の教科書ができ、教科書で保健を教えることとなった。また、学校週5日制(週休2日制)の導入など、新しい学校経営の段階に入る。ふり返ってみると、去年は学校保健上の問題がマスコミで報道されたことが多か

った。そこで、ますます学校保健の活性化が望まれるわけだが、現在の状況はどのようなのか、というところから話に入りたい。

壺井 私の見る限りでは、まだ、学校保健の活性化への道は遠いし、学校経営の中に位置付けられていないと思う。

司会 学校保健教育に熱心な学校ほど、非行も長

欠も少ないと聞くが。

**壺井** 学校保健活動を熱心実践していると良い学校になるのは事実だ。学校保健の優良校へ行ってみると、まず、子どもが違う。そして教師も違う。教師が違うから子ども達も違ってくるのかも知れない。これは大事なことだと思う。しかし、残念ながら、こういう学校は、まだ僅かしかない。

**吉村** 私は学校の校長になって4年目だが、役所にいたときは、どっちかという学校の良いところばかり見てきたので、学校における保健活動も活発に行われているものと思っていたが、現場では課題が多い。

教育課程の編成、実施についても、ほとんどの学校では学習指導要領に即して行われているが、しかし、なかには十分行われていないところがあると聞く。例えば、最も保健活動の根幹となる中学校1、2年の保健授業を考えると、年間10時間の授業が確保がされているか。また、時間を適切に使わないと内容が消化できないのではないかなど、また、教師の資質の問題等もあるが十分な教育効果を上げていない学校もあると聞く。現場にでてみて、自分の考えていたこととちょっと違うな、と思ったこともある。

今度の新学習指導要領の内容も、果して10時間の中で消化することができるか心配である。学校保健の活性化の根幹として、保健体育の教科指導が基本となるならば、なおのこと他教科や、他の教育活動と連携した指導を展開していかないと活性化につながっていかないと思うし、また、改訂の趣旨が生かされないのではないだろうか。

**壺井** 小学校の保健の教科書ができたが、今年は保健体育を他教科との関連を見極めて新しい編成をする年だといっている。従来も100%消化している学校は少ない。以前には雨降り保健というところもあったようだが、いまは体育館があるので尚更である。

そこで、教科体育の中に保健を組んでいくのだが、このとき果して担任が適切に展開できるのか、疑問

がある。そのための研修が必要であり、指導内容を消化できるような教育課程の編成が極めて大事なものとなってくる。もうひとつ心配なのは、私のところでも保健学習の講習会があるが、保健の担当は学校保健課で、体育系指導主事がお手伝する形となっている。体育の方から出てきてやるのが当然だと思うのだが。

**高田** いま、心豊かなたくましい児童・生徒の育成が叫ばれているのは、逆にいうと、いまの子ども達はひ弱であることの裏返しではないかと思う。暗い話ばかり多いなあ、というのが実感である。ただひとつ、これはいいことなのか、どうかかわからないが、朝シャンが流行しているように必要以上に清潔志向になったようだ。朝食よりもおしゃれに時間をかけるのは、どうかと思うが。

**壺井** マスコミに取りあげられることはオーバな部分も確かだが、埼玉県の場合をみると、平成元年度の長欠児は、小学校1,439名で全体の0.3%と少ない。でも各小学校に1~2名はいるわけだ。中学校になると3,982名で、1.3%。大体、各中学校に9~10名程いることになる。これは大変な問題だ。この中には学校嫌いが年々増えている。元年度は小学校で485名長欠児の中の34%。中学校では2,866名で、長欠児の中に72%いる。数からいっても問題だし、これらの子ども達といかに取り組んでいくかが課題ともいえる。

**司会** 昔はどうだったのか。

**猪股** 統計として長欠児童・生徒は存在していた。事由としては学校嫌いよりも経済的理由による長欠児が多かった。

**壺井** 昔は長欠児がいても現在のような騒ぎにはならなかった。いまは社会からの発言も多くなっている。

**司会** 学校としては、その方面ばかり目を向けて



壺井忠雄先生

いては、全体としての学校経営がうまくいかないのでは。

**壺 井** 全体の中で、この問題をどう解決していくかが大切なことだ。このことは生徒指導の関係であり学校保健の問題ではないという領分争いではない。現場では精神保健・健康教育、ひいては学校経営上の大きな問題だと思う。

**吉 村** たしかに学校嫌いや、長欠生徒の問題は、小学校と比べると中学校のほうが多いし、学校差、



吉村英雄先生

地域差もある。ある地域では学年に1人という学校から、2桁に達する学校もある。その原因は一口にこうだということは難しい。この問題は不応適生徒だけに限らず、大なり小なりにどの子どもにもその影響を与えているのではないか。いろいろ原因はある

だろうが、そのなかでも家庭教育に大きな支柱がなくなったこと、ことに親の考え方の影響は大きい。

最近の子どもの9割は進学という。とにかく、勉強の時間を増やして、やたら受験勉強をしろという風潮が強い。そのため、体育活動の時間やゆとりある生活が制約されている。午後4時に帰宅して軽食をとり塾に行く。10時ごろ帰ってきて夕食。さらに宿題の勉強をして、という生活では寝不足となり、大人でも疲れる。

私は生活指導主任や週番の生徒たちと毎朝校門に立ち最初から全生徒が登校の終るまで見届ける。遅刻する子は5%もいないが、この子ども達に聞くとやはり夜遅くまで勉強していて、寝過したという。こういう生活が続くと、身体的、精神的にもろい子は、やはり学校が嫌になってくるのではないかなあと思う。

**司 会** 何か具体的な改善方法を行ったのか。

**吉 村** 本校は、東京都から国際理解教育の推進校の委託を受けて3年間実践研究を行った。このため研究授業やその他の準備で、早朝から夜遅くまで全

職員が頑張った。最初のうちは体育の教科と国際理解教育と何の関係があるのか。数学の因数分解とどう結びつくのか、などの疑問があった。学校保健においても同じで、学校保健と数学や英語等の教科とどのような関係があるのかなど疑問が出るのは同じことである。結局、学校の方針を明らかにして指導体制を整えて、推進させていくことが活性化につながる。

生徒達の始業は8時15分だが、毎朝7時30分には私を始め多くの教師は登校している。8時すぎに登校してくる教師はいない。全教職員の考え方を一つにしていくのには、校長が率先して行動し、俺についてこい式の模範を示すことが大切だと思う。そうして校長の方針が滲透していき全教職員に定着してしまえば、教育効果は高まる。同じように学校保健も、すべての教職員が全教科領域で取り組めば、活性化すると思う。

**壺 井** 先生のような校長がいるところは学校保健も滲透していると思う。しかし、職員のなかには学校保健の理解不足がまだ多い。

### 活性化と学校保健委員会

**司 会** 学校保健委員会と学校保健の活性化との関係はどうか。

**高 田** いままでの学校保健委員会は、どちらかというと一方通行だったのではないか。養護教諭が一生懸命に資料を作って教師や保護者へ流すが、いつもそれが一方通行となっている。学校保健委員会が、保護者、そして地域からの問題提起の場にもならないと活性化は難しい。学校関係者以外がいつもオブザーバー的なお客様のような存在であってはいけないと思う。一緒になって考えていく姿勢が欲しい。

**司 会** 毎月保健だよりを出している学校は学校保健が活発となるといわれている。やはり、学校側から資料を提供しないと、地域や保護者からも問題提起の球が返ってこないのではないか。

**吉 村** 私のところでは親に出すもの、教師に出す

もの、子どもに出すもの3種類に分けて出している。教師向けのものには、こういう子にはこのことを気を付けて、というような細かい気配りがあり、大へん参考となる。だが、保健だよりだけで活性化につながるというものではない。校務組織の中に学校保健を明確に位置付け、心豊かな、たくましい子を育成する、という学校の教育目標具現化に向って、それぞれが校務分掌を担当して学校保健に対する共通理解と、生徒の実態や課題に応じた指導の徹底を図っていくことが大切だ。

**猪 股** 学校保健委員会の問題を掘り下げていく中で、活性化への道筋ができていくと思う。その委員



猪股俊二先生

会の活動として、極めて大切な広報という問題がある。これも学校保健活性化のひとつの方法としてでてきた。教師、児童、生徒、そして保護者へと情報が確実に伝達されることは素晴らしいことだ。皆が情報を持合せることは大切なことである。この保健だより

以外にも具体的な方法もあると思う。何とんでも学校保健委員会が核となって、保健学習や指導を大事にしないと活性化しないし、成果もあがらない。

**司 会** その他の事例のご紹介を。

**高 田** PTAの保健部会が活躍している学校では、親達が子どもたちの生活全般について調査し、結果を委員会で発表している例がある。そうになると教師側も、これはうっかりしてられないと熱心になる。学校側から情報を投げかけるばかりでは活性化しないのではないか。双方からの反応がないと活性化しない。

**司 会** 最近のように共働きの家庭が増えてくるとPTA活動も違ってきたと思うが。

**壺 井** PTAの学年委員会の中に保健部あるいはそれに類する組織を設置して資料をまとめていくといいと思う。健やかな子どもを育てるための組織として、PTA活動は重要だ。保護者に参加してもら

うためには、前もって議題をだして、時間の設定、とくに終了時間をきちんと書いて通知をすることが大切であると思う。以前よりパート働きのお母さん達が増えている。だから集ってもらう手立ての工夫が必要だ。

**吉 村** 生徒達の保健活動は活躍している。病気の統計を作成したり、移動教室のときの保健担当となったりしている。この活動は、保健活動の基礎基本だと思う。私のところの学校保健委員会には生徒が入っていないが、子ども達の保健活動が学校保健委員会に結びついていくと活性化すると思う。

**猪 股** 各地、各学校、それぞれの特徴を生かした活動をステップとして、地道に築き上げていくことが大切だ。学校保健委員会に生徒保健委員会の代表が入って議論するのはいいことだと思う。子どもの発想、子どもの着眼点は大人と違って新鮮なものがあり、ときに驚ろかされるものがある。大人達への刺戟となると思う。

**吉 村** いづれにしても一足跳びの活性化はむづかしい。現状をしっかりと把握して、それぞれ学校独自の進め方が必要だ。教育は時代の流れの中で動いていく。遅々とした流れのとき、早い流れのとき、それに合して教育も動いていると思う。あせらずに着実に活性化を図るべきである。

## 指導要領の改訂について

**司 会** 本年から指導要領の改訂や、保健の教科書ができたが、具体的にどう変わるのか。

**壺 井** 保健教科の学習については担任が行うわけだが、養護教諭や保健主事はそれを支援していくこととなる。始めはまごつくと思うが。

**猪 股** 指導計画を作成する際、また、学習指導を工夫するとき、3つの柱を中心に考えていただきたい。1つは健康安全に関する基礎的な事項の理解、2番目がその思考判断力の育成、3番目が意志決定ができる、ということ。きちんとした保健に関する知識を確かなものとし、思考判断力を子どもにつけ

る。それを踏まえて、生涯にわたって健康に関する行動選択の必要が生じたときに、自から意志決定を的確にできる、というようにしてもらいたい、ということである。今回はこの3番目を全面的にだしてきたということである。

**司 会** 保健室へ逃避するという子どもがいると聞くが、保健室で養護教諭が指導するというのは、どの程度まで可能だろうか。例えば、生活や学習姿勢などについて子ども達へ助言することは教育効果があると思うが。

**高 田** 小学校では平成4年度から保健の教科書で教えることになるが、保健学習は担任にまかせるべきだ。養護教諭は学級活動や保健室にくる子どもの援助のほうが今は先決だと思う。

**司 会** 保健教室を設置したら、という意見もあるが。

**猪 股** 昭和45年ごろのことかと思うが、学校保健学会のとき、現場から保健教室の設置の意見がでた。いろいろ議論されたが結局、視聴覚教室を多目的に使用する、という議論になった。これから保健教室を設置し保健の教材を揃え、各担任が授業に必要なものを活用するという形が十分考えられる。

**高 田** 保健室には保健教育に必要な教材を揃えるほどの広いスペースがない。子どもの数が少なくなり教室に余裕のできている学校はぜひ保健教室をつくってほしい。保健教室に多くの資料が保管され、それが活用されることが望ましい。



**猪 股** 授業をするのは担任がやるのだが、養護教諭は担任への教材や資料の面で、バ

**高 田 公 子 先生** ックアップし共同作業として教材研究をすすめていただきたい。また、養護教諭が担任の授業に協力して、例えば10分程でも教壇に立つと、子どもの目には新鮮な感じを与え授業が生き生きとしてくることもある。このへんのところも新指導要領で、指導体制の工夫が必要と書いてある。

## 社会環境の変化への対応

**司 会** まとめに入りたいので、ひとことずつ。

**壺 井** 最初に社会環境の変化の話があったが、共働きの時代となって保護者や地域との連携ということで、母親がどのくらい働いているかを調査した資料がある。私の地域は団地ということもあるが、60%の母親が働いている。20歳代の母親の71%、30歳代では50%が外に働きにでている。この働いているお母さん達を調べると、悩みがある、という人が70%いる。また、子どもに目が届かない、という人が20%いた。やはり、家庭の問題が深くかかわってくると思う。学校保健活動も地域や家庭とのつながりを密にしていくことが活性化を高める上で大切だと考える。

**吉 村** 学校保健の目ざすものは、生徒の1人、1人が、健康で安全な生活をするための力を身につけることである。何か事があったときでも進んで自分で解決できる能力や態度を備えるように生徒が育っていくとき、喜びを感じる。そのためには、基礎的基本的なことをきちんと生活化させることが必要だ。まず学校の全体計画をたてて全教職員による指導体制づくりをしていくことが大切である。したがって新しい学習指導要領を踏まえての保健教育についても、最終的には子ども達が生活化できるところまで持っていけないといけない。過去には保健指導は40%ぐらいしか実施されなかったが、現在は80%以上取り扱われている。指導についても常に創意工夫していく研究熱心で実践的な教師を育てていくことが大切だ、と考えている。この核となる教師を育てないと学校保健委員会も育たないと思う。さらには、理科とか道徳とか、他教科・領域と結びつけて、実践的指導体系を整備し、校内研修を盛んにして具体的に進めることである。そして少数精鋭の縦の線を通した核づくりが急務であると考えている。

わが校で一番もろいのは学校保健委員会かも知れない。もっと学校医や関係機関へ情報を流して、ど

しどし相談してみることがいいのかも知れない。やはり情報を流さないと乗ってきてもらえないのではないかと思う。そして全体を広げていく組織作りを考えたい。

**高 田** これからの関係者に求められることは、「組織活動の推進能力」ではないかと思う。素晴らしい力量をもった保健主事や、養護教諭がひとりで頑張ってもその人が異動すると、学校保健活動が低調になるケースが多い。これは個人的頑張りだからそうなるので、ひとりで抱えこまないで学校全体に問題を投げかけていくことが必要である。例えば、小児成人病予防のための指導などはとうていひとりで解決できない問題だ。学校保健、学校体育、学校給食、生徒指導などが一緒になって対策を考えないと解決しない問題である。いまは学校保健だけで解決できる問題は少なくなっている。校内でどんな問題を、いつ、どういう組織に働きかけていくかということを中心に考え実践していく、そういう組織活動の推進能力の必要性を感じている。

**壺 井** いま組織の話がでたが、保健主事は交代が激しい。これだけ学校保健の重要性が唱えられているときだから、もっと長期にわたって仕事ができるような手だてが欲しい。あまり短期間に変ると養護教諭の方にも迷惑がかかることも多く、組織作りができにくい。保健主事自身も認識を改めていきたい。

**猪 股** 学校保健の活性化は、一つは校内研修でど

の教師も共通基盤に立つ、ということが基本である。例えば、心肺蘇生法ということからでもいい。何か具体的なことから全校の教師に関心を持ってもらい、さらに研修を深めていくシステム作りが肝要だと思う。もう一つはさきに出た広報のことだが、これは情報処理だと思う。保護者からの情報をどう抱えこみ、学校にある問題をいかに家庭へ戻すか、また、地域社会へ戻すか、こういう情報処理を真剣に考えていかななくてはならない時期にきている。3つ目は組織活動だ。私の学校現場での経験でも、校長が指導性を持つて学校経営に当る姿勢がなくては、いい組織作りができないと思う。

**司 会** 本日は学校保健の活性化はいかにあるべきかをお話していただいた。それは教育課程のすべてを通して実現されるものであるというお話で、そのためには、学校経営の中に学校保健をきちんと位置付けることが必要である、という結論になったと思う。そして、もっと命を大切に考える。個性を尊重する、という人間としての基本的なことを確実に身に付けさせ、自からが考えて行動する児童・生徒の育成に取り組んでいただきたいということを読者の方へお願いして座談会を終わりたい。

杉 浦 稔委員長

(文責 杉浦 稔)



## 虎の門(13)

### 笑う門には福がくる

過日、健康・体力づくり事業団主催の「健康を考える」というセミナーに出席した。当日の講演の中で、二つほど心に残った話があった。一つは日本医師会羽田会長の「従来、日本人の健康の源泉は家庭にあった。この基盤が失われたときに危機がくる」ということ。もう一つは作家の阿川弘之氏の

「日本人はユーモアのセンスに欠けている。家庭にも社会にも笑が欲しい」という話である。

現在は新聞やテレビも暗いニュースが多い。家庭にも学校にも、その影響が間接的に及ぼしているのではなかろうか、と考えた。

昔から「笑う門には福がくる」といわれていた。明るい家庭は健

康につながると思う。笑を誘うユーモアのある会話は、心を豊かにしてくれる。

職員室でも教室でも笑声のある雰囲気、きっと豊かな心を持った児童、生徒を育てるだろう。ユーモアに満ちた授業があるといい。それが明るい家庭、楽しい学校につながると思った。(杉浦委員)

# 平成3年度 叙勲された学校保健の功労者 《 春 》 《 秋 》

◎学校医

〈旭 五〉

大野 義忠 (群馬県) 中村 孝 (埼玉県)  
 宮澤 明政 (長野県) 林 桂太郎 (岐阜県)  
 高橋 吉郎 (愛知県)

〈瑞 五〉

天野 龍二 (青森県)

◎学校歯科医

〈旭 五〉

石橋不二三 (茨城県) 富田 敬男 (千葉県)  
 福辻 靖典 (和歌山県) 増井 寅男 (広島県)  
 米良 卓郎 (鹿児島県) 村田 政雄 (岩手県)

〈瑞 五〉

行木 博男 (神奈川県) 熊木 甚朔 (富山県)  
 小林喜久丸 (長野県) 山口 晋作 (静岡県)  
 北井 政夫 (滋賀県) 森戸 彌助 (島根県)  
 福島 吉夫 (岡山県) 藤原 繁明 (徳島県)  
 大膳 哲朗 (愛媛県) 吉岡西一郎 (高知県)  
 横山韓一郎 (佐賀県) 尼子 豊州 (長崎県)  
 毛呂 ナミ (埼玉県)

◎学校薬剤師

〈旭 五〉

戸谷 一郎 (大阪府)

◎学校医

〈瑞 四〉

猪口 嘉二 (福岡県)

〈旭 五〉

高橋 央吉 (茨城県) 若山 弘 (埼玉県)  
 坂内 禧義 (新潟県) 辰見 武吉 (大阪府)  
 川本 輝夫 (奈良県) 金川 透 (鹿児島県)

〈瑞 五〉

吉見 和夫 (群馬県) 坂本健次郎 (千葉県)  
 中濱 雄一 (石川県) 安木 良平 (長野県)  
 杉山 熊男 (静岡県) 鍋田 正 (愛知県)  
 松井壽美子 (富山県)

◎学校歯科医

〈旭 五〉

前田 秀夫 (和歌山県)

〈瑞 五〉

宮澤 喬 (青森県) 高橋 一夫 (東京都)  
 杉本 幸 (静岡県) 岩名 彰 (三重県)  
 瀬川 巖 (広島県) 竹村 信 (長崎県)  
 鳥塚 重義 (埼玉県) 龍川 禎三 (徳島県)

## 第41回 全国学校保健研究大会

# 文部大臣表彰の個人・学校・団体

◇学校保健関係

◎学校医 (52名)

江口甲一郎 (北海道)	出口 栄二 (北海道)	福島 龍彦 (青森県)	白井 膽夫 (岩手県)
菅原 光夫 (岩手県)	大槻 頼雄 (宮城県)	長谷川藤幸 (山形県)	根本 祐甫 (福島県)
尾形 茂夫 (福島県)	高野 正道 (茨城県)	織田 敏郎 (群馬県)	星 博巳 (埼玉県)
桂 保平 (埼玉県)	本吉 雄吉 (千葉県)	吉田源太夫 (東京都)	平川 恒義 (東京都)
谷川 篤 (東京都)	平野 春雄 (東京都)	大森 重次 (神奈川県)	松澤 巴 (神奈川県)
津田 進 (神奈川県)	竹谷 喜平 (石川県)	大芝 玄五 (山梨県)	小川 茂男 (長野県)
木澤 彰 (岐阜県)	伊藤 紀子 (静岡県)	多胡 勇雄 (滋賀県)	青木 昭 (京都府)
小泉 星一 (大阪府)	是則 隆一 (兵庫県)	藤森 春樹 (兵庫県)	田仲 博章 (奈良県)
椋代 寛 (和歌山県)	井畑 春雄 (和歌山県)	阿部 喜男 (鳥取県)	大屋 温 (島根県)



横山 元禎 (岡山県)	堀井 法三 (広島県)	三谷 力 (徳島県)	小田 修 (香川県)
西村 文男 (高知県)	松田 一夫 (福岡県)	幾嶋栄三郎 (福岡県)	夏秋 正義 (佐賀県)
平松 俊昭 (佐賀県)	村山 開亮 (長崎県)	尾上 公敏 (熊本県)	河野 利之 (大分県)
小池 初雄 (宮崎県)	坂口 瑞生 (宮崎県)	梅北 豊二 (鹿児島県)	上村 昭栄 (沖縄県)

## ◎学校歯科医 (34名)

船本 達世 (北海道)	楨 さち (青森県)	高橋 智次 (岩手県)	能登喜久治 (秋田県)
稲葉 重恭 (山形県)	後上 豊久 (茨城県)	大澤 三郎 (栃木県)	橋本 篤 (群馬県)
重竹 賢一 (埼玉県)	勝田 吉郎 (千葉県)	田中 健吾 (東京都)	三澤 肇 (東京都)
佐藤 貞勝 (東京都)	富田 美毘子 (神奈川県)	杉村 彬 (石川県)	長谷川義明 (山梨県)
佐野 綾子 (長野県)	伊藤 哲 (愛知県)	加藤 晃行 (愛知県)	高橋 裕 (三重県)
有馬 照彦 (滋賀県)	木村慎一郎 (大阪府)	今岡 久 (奈良県)	福岡 保郎 (奈良県)
磯野 達 (和歌山県)	清水 博 (鳥取県)	板垣 陽 (島根県)	近常 良孝 (岡山県)
上野 泰義 (山口県)	大菊 義春 (高知県)	松尾 梅雄 (福岡県)	諸岡 敏雄 (長崎県)
河野 哲 (大分県)	郡山 秀雄 (宮崎県)		

## ◎学校薬剤師 (15名)

島田 克己 (北海道)	菅原 三吉 (神奈川県)	松井 泰治 (富山県)	徳久 和夫 (石川県)
井上 浩 (岐阜県)	福嶋 昭 (愛知県)	中井 義賢 (京都府)	井東 綏猷 (大阪府)
前川 亮一 (兵庫県)	西本 俊 (奈良県)	田上 正男 (広島県)	和久 英春 (徳島県)
稲本 恵司 (香川県)	西津家正人 (福岡県)	牟田 邦彦 (長崎県)	

## ◎校 長 (6名)

中村 尚義 (北海道)	酒井 邦光 (栃木県)	石川 勉 (神奈川県)	石坂 誠實 (福岡県)
森口 尉典 (熊本県)	平田 良吉 (沖縄県)		

## ◎保健主事 (4名)

玉熊 靖司 (青森県)	佐々木貞雄 (秋田県)	平 和雄 (大阪府)	中川 安治 (奈良県)
-------------	-------------	------------	-------------

## ◎養護教諭 (6名)

金山 桂子 (富山県)	田附 敏子 (滋賀県)	守田 幸美 (奈良県)	神門 淑子 (島根県)
定宗 明子 (広島県)	福田恵美子 (山口県)		

## ◎その他 (1名)

内藤 滋 (奈良県)

## ◎学 校 (6校)

新潟県上越市立戸野目小学校	福井県福井市森田小学校	静岡県静岡市立賤機北小学校
愛媛県土居町立関川小学校	愛媛県広田村立広田小学校	鹿児島県鹿児島市立松原小学校

## ◎団 体 (3団体)

青森県西郡学校保健会	東京都杉並区学校保健会	鹿児島県川内市学校保健会
------------	-------------	--------------

## ◎◇学校安全関係

## ◎個 人 (2名)

加藤 功 (埼玉県)	野島 英秀 (沖縄県)
------------	-------------

## ◎学 校 (21校)

山形県中山町立豊田小学校	福島県白河市立白河第五小学校	栃木県塩谷町立大宮小学校
群馬県板倉町立西小学校	千葉県銚子市立豊岡小学校	富山県小矢部市立蟹谷小学校
福井県清水町清水南小学校	長野県飯田市立竜東中学校	静岡県土肥町立南小学校
愛知県豊川市立西部小学校	京都府京都市立粟田小学校	奈良県立高田東高等学校
島根県浜田市立佐野小学校	岡山県哲多町立本郷幼稚園	広島県沼隈町立能登原小学校
山口県下関市立山の田小学校	徳島県鳴島町立鳴島幼稚園	香川県高松市立日新小学校
愛媛県伊予三島市立南小学校	佐賀県唐津市立外町小学校	熊本県蘇陽町立馬見原小学校

\*上記の叙勲・表彰された方々について、本会より例年どおり個人には銀盃、学校・団体には記念品代を贈呈しました。

## 第41回全国学校保健研究大会 特別講演

## 鹿の心・人の心 — 神鹿の嘆き —

奈良県教育委員会委員長 花山院 親忠

## 神 鹿

奈良公園には1,200頭の鹿が、冬毛をまとい晩秋の日を浴びて悠々と遊んでいる。近寄っても、手で触られても逃げない、今日まで長い年月をかけて、鹿の心と人の心が通っているのである。朝礼をして、「お前達は神の使いの鹿である。公園の残飯をあさることは何たる仕草さか」と諭し別れることにしている。仏や神が動物と仲良くしている姿は、稲荷のキツネ、弁財天の蛇などに見られ、鹿は春日の神の使いといわれる。767年に常陸の国（茨城県）鹿島神宮の祭神武甕槌尊を白い鹿にお乗せして長い旅の日数を重ねて大和国御蓋山の頂上にお着きになり、翌年社殿を建てられたとされ、奈良の人は神の使いの鹿・神鹿といっている。奈良の都のできる前から鹿が棲息していて、草を食み、反芻し、夏は木陰げで風の道の住み易い所にいる動物である。平城京ができ、大きな社寺が建立され、人々が住むようになり、人々と混住して生活する鹿となり、野性の馴化が進んだ。今日鹿が天然記念物に指定されているが、長い歴史の間に、人間が鹿の犠牲になったりして今日の信頼関係を築き上げたのである。

1006年の藤原行成の権記に、「暁に沐浴をした、思う所があって春日にお参りし、鹿に出会う、吉祥なり」と記してある。江戸時代に、財政的、組織的にも権力のあった興福寺の三科大犯に、1.童子を殺した場合、2.僧を傷つけ殺した場合、3.神鹿を傷つけ殺した場合死刑とあり、鹿を丁重にあつかっている。

## 鹿の生態

奈良の鹿は野性の鹿より長生きする。天敵がないからである。最近、原因不明で死亡した鹿の胃袋を開いてみたら、4kg余のビニールの固りがでてきた。ゴミ箱のゴミをあさるため第1の胃でビニールが未消化のまま残り第2の胃に行かず栄養不良で餓死したのである。

雌がお産をする時期は6月15日頃より約1ヶ月の間で約200頭の小鹿を産む、馴化しているとはいえず産の時は野性に還る。くぼみに産み、子鹿はじっと動かない。母鹿は回りをぐるぐる巡っている。子供が可愛いバンビといって抱くと鹿は後足で立ち上がり、前足でけたたましく子供をたたき、筋肉が露出

するような傷を負わせる。親は寺の責任者を出せと怒る。子鹿に人間の香りが移ると乳を与えないという。哺乳場で与えても育ちにくい。鹿は敵に立ち向うことをせず逃げる動物なので、栄養価の高いドロドロの濃い乳であり、牛乳のような薄いものでは育たない。そこで臨月の鹿を捕獲することにしているが力が強い、仕方なく麻酔銃を使い収容して集団出産をさせる。森では飼育できずノイローゼになる母鹿もいて子鹿も死ぬがそれはなくなった。多数の鹿の中で不本意な生活を強いられているものもある。おいしそうな食物とみると、ネットを倒して農作物の瓜など好んで食べる。補償はできないのでネットなどの現物で許してもらっているが3年位鹿園に入れて後放しても再び同じ所に行く、そこで永久に堀の中に入れていた。

## 鹿の心・人の心

現在、雌714頭、雄264頭であるが、公園内に道路ができて交通事故死が約50頭、疾病によるもの20頭その他100頭、野犬が子鹿などを襲って50頭が年間に死んでいる。犬は人が捨てたもので人間社会の我儘の犠牲によるものである。

頭数の数え方は奈良鹿愛護会の人を中心になって組分けで90°範囲内を歩きながら目で勘定をし、3日間くり返し実施し、合計を3で割って算出している。原始的な調査である。

鹿の角は10月初旬から中旬にかけて切り取り、奈良鹿愛護会で競売している。

奈良公園の鹿は約1500年間にわたって、人と鹿が近づき、お互に犠牲者となり、対話して馴化した鹿ができ上がった。一朝一夕にできたのではない。人の心と鹿の心が通じあってできたのである。

(文責 杉下順一郎編集委員)

## 講師略歴

昭和16年	国学院大学国文学科卒業
昭和46年	佐賀県立三養基高等学校々長
昭和46年	春日大社宮司
	財団法人奈良の鹿愛護会々長
昭和59年	奈良県教育委員

## 日本学校保健会だより

## 平成3年度 全国学校保健協議大会

平成3年度の全国学校保健協議大会は、去る平成3年11月8日(金)の午後4時から、奈良県奈良市で開催されていた第41回全国学校保健研究大会(7・8日)に引き続いて、同市内の公立学校共済組合奈良宿泊所「春日野荘」において開催された。

2日間の研究大会終了後であり、しかも、そのあといろいろな計画が考えられていたにもかかわらず、140名近い出席者があったことは、この協議大会によせる関心の深さ・期待の一端とも受け止められる。

本会としては、この全国からよせられた期待と情熱を尊重し、学校保健の充実推進にむけて全力をあげていきたい。

協議大会は、村瀬本会会長、猪股文部省体育局体育官のあいさつに始まり、議長団に選出された、和久井本会専務理事、比嘉沖縄県学校保健会会長(前年度開催県)有山奈良県学校保健会会長(本年度開催県)刑部山梨県学校保健会会長(来年度開催県)の4氏によって運営された。

まず、平成2年度協議事項の処理に関して、比嘉議長(沖縄県学校保健会会長)から文部省、各加盟団体の都道府県指定都市教育委員会にあてた要望、及び、各加盟団体からの研究課題実施成果などについての概要が報告された。

次いで本年度協議題の協議に入った。

本年度の協議題の決定にあたっては、3年前から実施しているように、本協議大会の充実をはかるねらいで学校保健の今日的課題を中心に各ブロックからの協議事項を集約し、該当するブロックの代表か

ら提案理由の説明をもとに、参加者全員で集中的に協議した。

## ○平成3年度 協議題

## I 学校における健康教育の充実、強化について

- (1) 健康教育の推進について(心の健康について)
- (2) 学校保健組織活動の充実と強化について
- (3) 教職員の学校保健に対する資質の充実と強化
- (4) 保健室の拡充と保健(健康)教室の設置

## II 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の充実と待遇改善

- (1) 学校医等の報酬の改善
- (2) 専門医(眼科・耳鼻科・皮膚科・整形外科・精神科・婦人科等)の配置
- (3) 薬剤師の配置
- (4) 表彰と叙勲について

## III 各加盟団体提出の協議事項について

- (1) 小児成人病について
- (2) アレルギー疾患について
- (3) 健康診断について

特に、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の待遇改善、さらに「産業医」との関係について矢野本会副会長より説明がなされ、学校薬剤師については、松尾本会副会長より説明された。

協議は参加者各位の熱心な討議により、あたえられた時間内に非常に充実した掘り下げが行われた。

この問題の処理とあわせて、各ブロックから提出された協議事項をふまえた、要望事項・研究課題の作成等については、議長団に一任された。

## 第30回 全日本よい歯の学校表彰

第30回全日本よい歯の学校表彰は、全国より77校の応募があり、慎重審査の結果、平成3年10月18日、宮城県仙台市で行われた、第55回全国学校歯科保健研究大会にて、最優秀校6校に対し、文都大臣賞と副賞、特別賞受賞校8校には、日本歯科医師会より会長賞が授与された。

**最優秀受賞校** 青森県 西津軽郡木造町立出野里小学校  
山形県 飽海郡八幡町立八幡小学校  
千葉県 千葉市立幕張東小学校  
東京都 江東区立第二亀戸小学校

滋賀県 甲賀郡水口町立水口小学校  
大阪府 堺市立野田小学校  
**特別賞受賞校** 宮城県 黒川郡大郷町立味明小学校  
宮城県 宮城県立光明養護学校  
群馬県 群馬郡群馬町立上郊小学校  
千葉県 千葉市立横戸小学校  
神奈川県 厚木市立相川小学校  
岐阜県 揖斐郡池田町立溫和小学校  
富山県 婦負郡八尾町立杉原小学校  
香川県 木田郡三木町立平井小学校

# 健康へのひと粒

歯・骨を丈夫に...



ビタミンADを含んだ... 服用しやすい  
ゼリー状ドロップ剤

# カワイイ肝油ドロップ

河合製薬株式会社

〒165 東京都中野区新井2丁目51番8号  
電話 03(3385)3111~7



学童の集団検診にお選びください。

エームスは新しい目で健康をみつめます



尿中白血球反応をプラスしたエームスの尿検査試験紙

エームス尿検査試験紙(尿中pH、ブドウ糖、蛋白質、潜血検査用)  
**ヘマコンビスティックス**

体外診断用医薬品

エームス尿検査試験紙(尿中ブドウ糖、比重、pH、潜血、蛋白質、要酸素値、白血球検査用)  
**ネフロスティックス-L**

体外診断用医薬品

マイルス・三共株式会社

東京都中央区銀座1丁目9番7号

販売元:

三共株式会社

東京都中央区銀座2丁目7番12号 〒104 ☎(03)3562-0411

お問い合わせコーナー

**0120-123119**

※届に異なるお問合せはマイルス・三共にお問合せコーナーへ(現金無利/平日9:00~17:00)

JU1390-S

## "さあ、しゅっぱつだ!" からだと心のたんけん

低・中学年 入江幸子 著 ★B5変型判・72頁・定価1,200円<千310>

## "さあ、出発だ!" 体と心のたんけん

高学年 入江幸子 著 ★B5変型判・80頁・定価1,200円<千310>

中学校保健指導の手引 一学級担任のために

財団法人日本学校保健会 編 ★B5判・200頁・定価2,500円<千310>



第一法規

〒107 東京都港区南青山2-11-17

☎(03)3404-2251 FAX(03)3404-2269

※定価は税込みです。



## 教育(呼吸・吸圧)シューズ

日本学校保健会推薦 No.817号

**JES**に学問を!

科学された教育(吸圧)シューズ!

アウトソール ミッドソール 中敷  
(ラバー) (衝撃吸収材) (ラバーポウジ)

三層式ソール



日本教育シューズ協議会

TEL(0862)72-5463

手を洗うと、殺菌・消毒も同時にできる!

# シャボネット®石鹸液

多人数でお使いになるときは、連結式手洗い装置をご利用ください。

日本学校保健会 推せん品

サラヤ株式会社 ☎(06)797-2525

東京サラヤ株式会社 ☎(03)3472-1521

〈本会報は、拠出金と、本会への(財)日本船舶振興会助成金により作成しました〉

〒105 東京都港区芝浦1-10-0 (送料別)